

2021年

北海道地方

# 2月の天候

2021年3月1日  
札幌管区气象台 気象防災部  
地球環境・海洋課

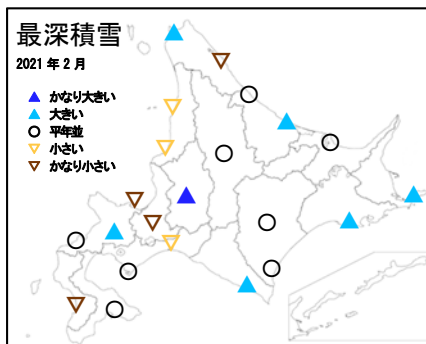
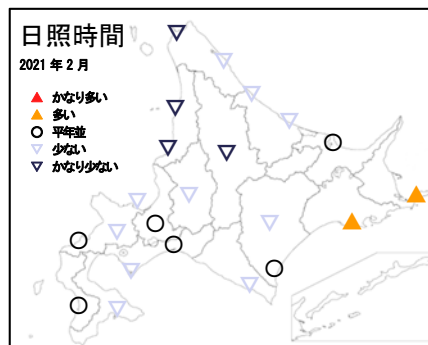
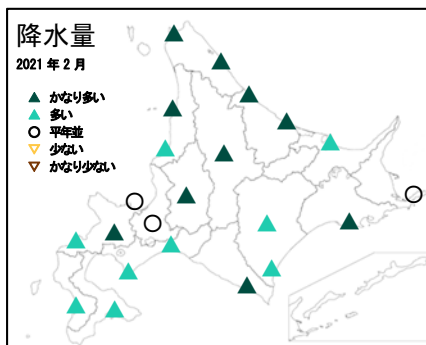
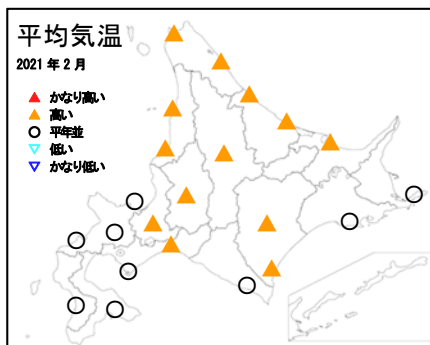
## 概況

— 低気圧の影響を受けやすく多雨・寡照、中旬は記録的高温。日本海側では大雪の所も。 —

2月上旬は冬型の気圧配置や低気圧の影響で曇りや雪の日が多かった。中旬は低気圧の影響で曇りや雪または雨の降った日が多く、特に16日から17日にかけては発達した低気圧の影響により各地で大雪や大荒れの天気となった。また、南から暖かい空気が流れ込んだため、中旬の平均気温は1961年の統計開始以降、歴代1位の高温となった。下旬は冬型の気圧配置の影響で、太平洋側とオホーツク海側では晴れた日が多く、日本海側では曇りや雪の日が多かった。24日は石狩地方と空知地方で局地的に大雪となった。

気温は上旬は平年より低く、中旬はかなり高く、下旬は低く、月平均気温は高かった。降水量は中旬は平年よりかなり多く、月降水量もかなり多かった。日照時間は上旬はかなり少なく、中旬は少なく、月間日照時間は少なかった。降雪量は上旬は少なく、中旬はかなり少なく、月降雪量は少なかった。なお、1961年の統計開始以降、上旬の日本海側の日照時間は最も少なく、中旬の日本海側、オホーツク海側、北海道地方の気温は最も高かった。

## 階級分布図



## 月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.0	+	165	++	85	-	70	-
日本海側	+0.8	+	159	++	77	-	81	-
オホーツク海側	+1.5	+	165	+	86	-	68	--
太平洋側	+0.9	+	173	+	95	0	57	-

注) ・数値は、地域内の气象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。  
・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981~2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

## 旬の統計値（地域平均）

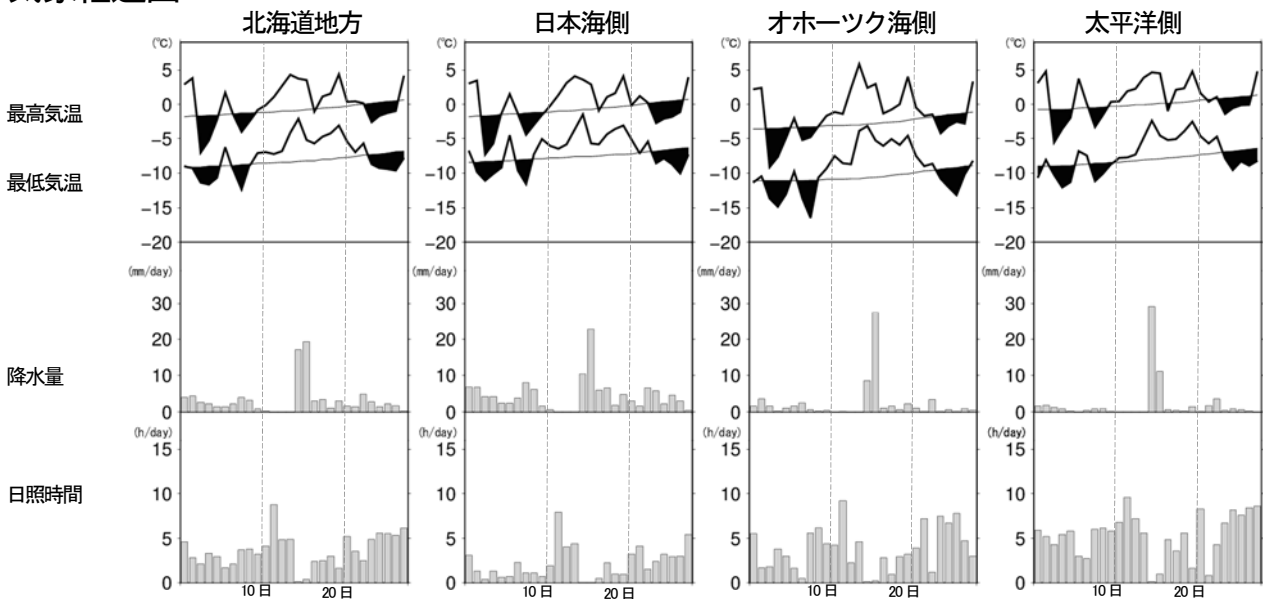
上旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-0.5	-	116	0	68	--	71	-
日本海側	-0.5	0	160	++	47	--	89	-
オホーツク海側	-0.8	0	119	+	81	-	61	-
太平洋側	-0.2	0	59	0	89	-	54	-

中旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+3.7	++	266	++	83	-	48	--
日本海側	+3.5	++	192	++	88	-	53	--
オホーツク海側	+5.2	++	294	++	69	-	77	-
太平洋側	+3.1	++	345	++	84	-	27	--

下旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-0.7	-	87	0	104	0	98	0
日本海側	-0.9	-	119	+	92	0	110	0
オホーツク海側	-0.3	0	56	0	112	0	66	-
太平洋側	-0.5	-	62	0	115	+	100	0

注) ・数値は、地域内の気象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。  
 ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981～2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

## 気象経過図



## 日別の天気概況

### 上旬

- 1日：高気圧の張り出しの中で、オホーツク海側と太平洋側東部では晴れた所が多かったが、前線を伴った低気圧の通過により日本海側と太平洋側西部を中心に雪や雨が降った。
- 2日：前線の通過やその後の冬型の気圧配置の影響で、日本海側を中心に雪が降り、太平洋側では晴れた所が多かった。
- 3～4日：冬型の気圧配置の影響で、日本海側を中心に雪が降り、太平洋側では晴れた所が多かった。
- 5日：冬型の気圧配置の影響で、日本海側を中心に雪が降ったが、太平洋側では高気圧の張り出しの中で晴れた。
- 6日：前線を伴った低気圧の通過により日本海側とオホーツク海側では雪の降った所が多かったが、太平洋側東部では晴れた所もあった。
- 7日：冬型の気圧配置と気圧の谷の通過により広い範囲で雪が降った。
- 8～10日：冬型の気圧配置の影響で、日本海側では雪の降った所が多く、太平洋側とオホーツク海側では晴れた所が多かった。9日に岩見沢市5条で日降雪量40cmなど。

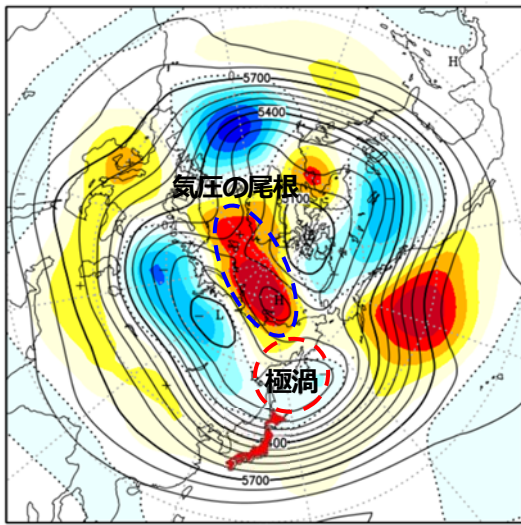
### 中旬

- 11日：はじめ冬型の気圧配置の影響で、日本海側で雪が降ったが、次第に高気圧に覆われて晴れた。
- 12日：高気圧に覆われて全道的に晴れた。
- 13～14日：日本海側北部では気圧の谷の影響で、曇りで雪または雨の降った所があったが、高気圧の張り出しの中で広い範囲で晴れた。
- 15日：急速に発達する低気圧の影響で、全道的に雨や雪が降った。日降水量はえりも町目黒で58.5mmなど。
- 16日：発達した低気圧の影響で、全道的に雪や雨が降り、大荒れの天気となった所もあった。日降水量は斜里町宇登呂で65.0mm、日降雪量は音威子府で40cmなど。
- 17日：発達した低気圧の影響で、日本海側と太平洋側西部を中心に雪が降り、上川地方では大雪となった所があった。日降雪量は美深町西町で52cmなど。
- 18～19日：冬型の気圧配置の影響で、日本海側を中心に雪が降り、太平洋側では晴れた所が多かった。
- 20日：前線を伴った低気圧の通過により広い範囲で雪または雨が降った。

### 下旬

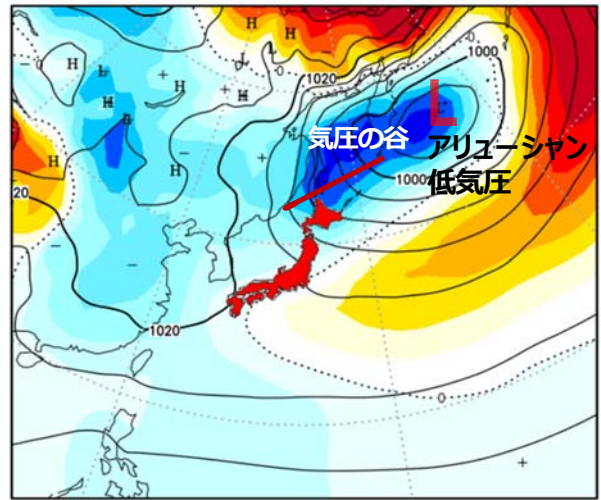
- 21日：冬型の気圧配置の影響で日本海側とオホーツク海側では雪の降った所が多く、太平洋側では晴れた所が多かった。
- 22日：気圧の尾根の影響で日本海側北部やオホーツク海側では晴れたが、低気圧の接近により日本海側南部や太平洋側では雪が降った。
- 23日：低気圧の通過により広い範囲で雪が降った。
- 24日：冬型の気圧配置の影響で、太平洋側東部やオホーツク海側では晴れたが、日本海側を中心に雪が降り、特に石狩地方と空知地方では局地的に大雪となった。日降雪量は新篠津で56cm、岩見沢市5条で50cmなど。
- 25日：冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で日本海側を中心に雪が降り、オホーツク海側と太平洋側では晴れた所が多かった。
- 26日：冬型の気圧配置の影響で日本海側を中心に雪が降り、オホーツク海側と太平洋側では晴れた所が多かった。
- 27日：はじめ冬型の気圧配置の影響で日本海側を中心に雪が降ったが、次第に高気圧に覆われて晴れた。
- 28日：高気圧の張り出しの中となって広い範囲で晴れた。

## 2月の大気の流れと地上天気図の特徴



北半球の月平均500hPa高度と年間偏差  
(年間値は1981～2010年の平均値)

実線は500hPa高度 (m)、着色は年間偏差 (m)。年間偏差が暖 (寒) 色の領域は年間より高度が高 (低) く、一般に暖 (寒) 気に覆われやすい。上空では、風は等高度線に沿って西から東に吹いている。等高度線が南北に波打っている所で偏西風が蛇行しており、等高度線の間隔が狭い所では偏西風が強い。



日本付近の月平均海面気圧と年間偏差  
(年間値は1981～2010年の平均値)

実線は等圧線 (hPa)、着色は年間偏差 (hPa)。年間偏差の暖 (寒) 色は、年間より気圧が高 (低) い領域。寒色の領域では、年間より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

### 500hPa (上空約5500m) 天気図

北極付近が気圧の尾根となっており、極渦が中央シベリアからオホーツク海に偏在し、北海道付近は寒気の影響を受ける時期があった。一方、中央アジアから日本の東にかけて帯状に高度が高く、北海道付近に暖かい空気が入る時期もあった。

### 地上天気図

上旬と下旬は、アリューシャン低気圧が年間より強く、北海道付近に寒気が流れ込みやすかった。中旬は、オホーツク海から沿海州にかけて気圧の谷 (茶色実線) となっており、北海道付近は低気圧の影響を受けやすかった。

## 月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間			降雪量			最深積雪		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級	本年 cm	平年値 cm	階級	本年 cm	平年値 cm	階級
稚内	-3.5	+1.2	+	111.5	184	++	40.2	50	--	124	143	-	104	75	+
北見枝幸	-4.7	+1.3	+	92.5	168	++	77.2	71	-	104)	125	-	72)	102	--
羽幌	-3.2	+1.3	+	157.0	196	++	46.3	57	--	114	150	-	89	101	-
雄武	-4.8	+1.8	+	58.0	191	++	107.7	89	-	64	95	-	69	63	0
留萌	-2.9	+1.2	+	85.0	121	+	36.4	50	--	93)	156	--	72	84	-
旭川	-5.1	+1.4	+	108.0	211	++	72.0	68	--	121	131	0	85	90	0
網走	-4.6	+1.4	+	40.0	111	+	135.0	97	0	51	81	--	46	52	0
小樽	-2.7	+0.2	0	117.5	111	0	70.4	90	-	110	156	-	81	119	--
札幌	-2.2	+0.9	+	78.5	84	0	114.2	110	0	75	147	--	61	97	--
岩見沢	-3.8	+1.2	+	190.5	230	++	80.6	71	-	227	160	++	205	119	++
帯広	-4.8	+1.4	+	41.0	165	+	184.1	97	-	12	37	--	44	54	0
釧路	-3.8	+0.9	0	58.0	257	++	188.4	104	+	24	34	0	41	26	+
根室	-3.3	+1.0	0	29.5	131	0	177.3	108	+	18	55	--	38	27	+
寿都	-2.1	0.0	0	120.5	154	+	47.1	101	0	100	134	-	69	71	0
室蘭	-1.6	+0.3	0	51.0	119	+	109.9	90	-	26	56	--	19	21	0
苫小牧	-2.4	+1.0	+	61.0	181	+	133.1	94	0	14	39	-	10	23	-
浦河	-2.0	+0.4	0	56.5	232	++	130.5	80	-	40	37	0	26	16	+
江差	-0.2	+0.3	0	72.5	123	+	51.1	87	0	37	88	--	6	28	--
函館	-1.8	+0.3	0	89.0	150	+	98.2	82	-	94	90	0	44	41	0
倶知安	-4.8	+0.4	0	226.5	170	++	53.1	81	-	247	226	+	211	187	+
紋別	-4.4	+1.5	+	58.0	190	++	105.3	88	-	59	102	--	61	54	+
広尾	-2.7	+1.6	+	77.5	146	+	169.8	106	0	23	94	--	81	81	0

注) ・平年値は1981～2010年の30年間の平均値です。

・階級の++は平年よりかなり高い(多い、大きい)、+は平年より高い(多い、大きい)、0は平年並、-は平年より低い(少ない、小さい)、--は平年よりかなり低い(少ない、小さい)を示す。

・「 ) 」付きの値は欠測を含む。「 ] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981～2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

## 月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
2月	月降水量(多い)	第2位	羽幌	157.0 mm	196 %	170.4 mm (1952)	1921
			岩見沢	190.5 mm	230 %	195.0 mm (1965)	1947
	月最深積雪(大きい)	第2位	岩見沢	205 cm	172 %	208 cm (2012)	1947

※データは速報値であり、後日変更される場合があります。

お問い合わせ先

札幌管区気象台気象防災部 地球環境・海洋課  
TEL (011) 611-6174